

講師紹介



富士通総研
取締役エグゼクティブ・フェロー
根津 利三郎

1970年 東京大学経済学部卒業、通商産業省(現経済産業省)入省。1975年 ハーバードビジネススクール卒業(MBA)。通商産業省 国際企業課長などを経て、1995年 経済協力開発機構(OECD)科学技術産業局長。2001年 富士通総研入社。2009年6月より現職。主に日本、世界の長期経済見直しを行っており、社外ではOECD鉄鋼委員会 議長を務める。



富士通総研
第三コンサルティング本部 BCM事業部長
伊藤 毅

富士通において金融機関向けソリューション企画、アウトソーシングビジネス企画業務に携わり、2004年より富士通グループの事業継続マネジメント推進の責任者を務める。2007年に富士通総研出向。以降、企業危機管理全般にわたるコンサルティング部門の責任者として幅広い業種の企業をサポートしている。また、NPO法人 事業継続推進機構において、BCM資格及び専門家育成担当理事を務める。米国専門家団体(DRII)認定BC専門家資格保有者。

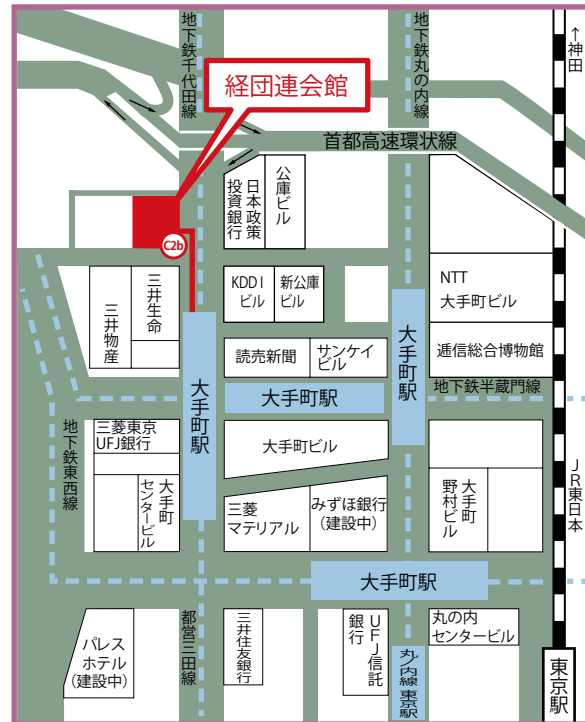


富士通総研
代表取締役副社長
佐藤 正春

1986年(株)富士通システム総研(現 富士通総研)設立に伴い富士通より出向。製造業をご支援する産業コンサルティング事業部長、製造業・流通業をご支援する第二コンサルティング本部長を経て、2009年6月より現職。富士通グループが新たに提案するフィールド・イノベーションの推進とフィールド・イノベータの育成を担当するフィールド・イノベーション推進本部長を兼務。

会場案内

経団連会館 2階 国際会議場
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2
TEL (03) 6741-0222



■ 東京メトロ「大手町」駅下車 C2b出口直結
■ JR線「東京」駅下車(丸の内北口)より徒歩20分

参加費 無料

株式会社 富士通総研

(富士通総研フォーラム事務局)

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1

ニューピア竹芝サウスタワー 11階

TEL(03)5401-8434 FAX(03)5401-8409

■ ホームページからお申し込みください

<http://jp.fujitsu.com/fri/>

富士通総研フォーラム2009

事業環境変化に打ち克つ 企業体質強化

～今、企業は何をなすべきか～

日時：2009年11月24日(火) 13:15～17:00

会場：経団連会館 2階 国際会議場

ご挨拶

拝啓 錦秋の候、皆様ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

富士通総研では、この度、富士通総研フォーラム2009「事業環境変化に打ち克つ企業体質強化」を開催いたします。

金融危機を端緒とする世界同時不況から最悪期は脱し、景気上向きの兆しが出てきたとはいうものの、未だ先行き不透明感が拭えません。予測できない新たな脅威や経営環境変化へ柔軟に対応する企業対応力が、従来以上に求められています。

今回は「企業体質強化」に着目して、外的脅威への対応力と内なる革新力に焦点を当て、事例紹介を交えながら、企業が今何をなすべきか、をご提案いたします。

ご多用中のことと存じますが、当フォーラムにご参加賜りますようご案内申し上げます。

敬具

株式会社 富士通総研

代表取締役社長 長谷川 展久

事業環境変化に打ち克つ企業体質強化

～今、企業は何をなすべきか～

13:15～13:25

開会挨拶

富士通総研 代表取締役社長 長谷川 展久

13:25～14:55

【基調講演】 「政権交代に伴う企業経営へのインパクト」

富士通総研 取締役エグゼクティブ・フェロー 根津 利三郎

民主党政権の誕生により、わが国における経済運営の基本方針、ひいては企業にとっての事業環境も大きく変わる。具体的にどのような変化が予見されるのか、企業の対応はいかにあるべきか、豊富なデータを駆使しつつ明らかにする。

14:55～15:15

(休憩)

15:15～16:00

【講演-1】 「事業継続マネジメントによる高信頼性組織の構築」
～危機の時代を乗り越える組織能力強化手法～

富士通総研 第三コンサルティング本部 B C M 事業部長 伊藤 毅

感染拡大を続ける新型インフルエンザや迫り来る大規模地震。経営を取り巻く危機は、自然災害に止まらずその種類・規模はさらに増大している。高信頼性組織の構築による企業危機管理能力強化の新たな手法を提案する。

16:00～17:00

【講演-2】 「企業の革新体質をどのように確立するか」
～200件を超えるフィールド・イノベーション実践からの提言～

富士通総研 代表取締役副社長 佐藤 正春

富士通は2007年5月に人/プロセス/ITの継続的改善で企業を革新に導く「フィールド・イノベーション」を提案し、その後フィールド・イノベータの育成と200件を超えるフィールド・イノベーションの実践に取り組んできた。この経験を踏まえて、今後企業が取り組むべき革新体質確立のアプローチを提言する。

17:00

閉会挨拶

富士通総研 常務取締役 本庄 滋明